

全国大学書道学会

会報

9

平成23年(2011)
3月31日発行
全国大学書道学会

御挨拶

幹事長 平形 精一

——あらゆる書法はすべて出つくされたと思われる—— 篠田桃紅のこの衝撃的なことを目にしたのは私が二十歳を過ぎたころだったでしょうか。その後、青山杉雨先生の「書道という特殊な芸術領域は、今日あるままの条件の中で革新し進歩していくべき道があると信じております。」(『書道講座七』)の一文に救われ、意を強くして師と仰ぎ、本格的に書の道に歩み出すことになりましたが、昨秋の三学会合同懇親会場花月会館のロビーに掲げられていた桃紅女史の水墨抽象作品は、その若かりし頃のことを久しぶりに回想させてくれました。

平成二十二年度の全国大学書道学会旭川大会は、北海道教育大学旭川校矢野敏文教授の御尽力により、十月二日(土)に同校を会場にして開催されました。例年より担当校の決定は遅れぎみでしたが、教大協書道教育部門代表の長野先生がリーダーシップを発揮され、実現の運びとなったものです。本学会は最終日に組まれましたので、帰りの交通事情を考慮し、記念講演を割愛するという思い切ったスケジュールになりましたが、分科会方式をとらずに、院生を中心とした八件の研究発表を同一会場で行うことができました。市内の中心地にある三八ギャラリーで開催された会員書作品展も含め、運営にあたられた関係各位に厚く感謝申し上げます。

さて、当日の総会では恒例の議題に加え、二つの案件が承認されました。一つは役員規約の一部改正です。近年、大学教員の業務が多様化し地方幹事が幹事に出席しにくい現状に鑑み、増員することにより幹事会の活性化を図ったものです。従来、地方幹事は九名と定められていましたが、これを「各地区原則二名、会務担当若干名」とすることになりました。会務担当幹事の新設は、常任幹事の会務負担を軽減し、若手の会員を登用することによって円滑な世代交代を企図しています。また、これに関連して発足当初より親しんできた「幹事長」名を他の学会の呼称にない、「理事長」に改めました。形が整いつつある近年の本学会の実情に照らした処置といえるでしょう。

二つは「高等学校書道免許状テキスト」(仮題)の刊行です。かねてより各大学で開講する免許状取得に必要な授業科目に対応するテキストを望む声が聞かれていましたが、今回の高等学校学習指導要領改訂を機に、学会が中心となって編集・発行するものです。小・中学校の書写については『明解・書写教育』(全国大学書写書道教育学会編)がありますが、高校書道の内容については書の専門的な知見をふまえることの妥当性から、常任理事会で検討を重ね、決定にふみ切りました。役員が中心となりますが、一人でも多くの会員に執筆いただくよう編集作業をすすめています。皆様の御支援・御協力をお願い申し上げます。

来年の学会は齋木先生の御配慮で茨城大会と決っています。私にとつては三十八年前、秋田大学に赴任した親友長沼氏と一緒に参加した初めての学会の地で懐かしもあります。一人でも多くの会員が御参加下さいますよう期待しています。



開会式風景

「全国大学書道学会

平成二十二年度(旭川)大会」を終えて

北海道教育大学旭川校 矢野 敏文

全国大学書道学会、平成二十二年度(旭川)大会の会場校をお引き受けしましたが、国立大学法人としては日本最北端の地に位置する北海道教育大学旭川校ゆえに、はたしてどのくらいの先生方の参加が得られるのか心配していたところです。しかも、大学書道三学会が開催される1週間前の旭川は天候が悪く六、七度前後の気温で、当地に暮らす私たちでも寒さが身にしみて感じるほどでした。しかし、三学会が開催される二日ほど前から回復し、温かな小春日和のなかで十月二日を迎え、本学会には五十名に近い先生方の参加を得ることができました。種々ご不便をおかけしまし

たが、全国各地から多数の方々にご参加をいただき、誠に有り難うございました。

当日は、早朝からの開会式、総会に引き続き、午前には三本の研究発表、午後には五本の研究発表があり、先進的な研究とともに充実した討議がなされました。北海道旭川の地にまで足を運び、鋭意研究を継続される皆様に心から敬意を表します。



大会会場入口

また、併催の学会会員書作展には四十七点の玉作の出品をいただきました。柳多様な思いや錬達の技法が紙面に展開し、華やいだ作品展を開催できたことに對しましても、心からお礼申し上げます。当地旭川は、高等学校の書道部などの若い世代から、生涯教育として、あるいは中央展に出品し作家活動が続ける者まで、非常に書道の盛んなところ です。全国各地で活躍される会員の方々の多様な書風の作品群は、当地の書の愛好家にも大変な刺激を与えていただきました。

今回学会に参加された皆様は、旭川近隣の大自然に接するいとまもなくお帰りになったことと推察いたします。大雪山連峰、旭山動物園、美瑛の丘陵地帯、優良な温泉、旬の新鮮な食材、三浦綾子文学館、彫刻美術館など、ゆつくり堪能していただきたいものがたくさんあります。またの機会に、ぜひ旭川を訪れていただければ幸いです。



学会会員書作展

全国大学書道学会 平成22年度（旭川）大会 開会式／総会 次第

日 時 平成22年10月2日（土）
会 場 北海道教育大学旭川校
開催大学 北海道教育大学旭川校

● 9:00 受付（参加費 会員4,000円 準会員（大学院生）2,000円）

● 9:30 開会式／総会（L301教室） 総会司会 事務局

1. 開会のことば	横田 恭三（跡見学園女子大学）
2. 開催大学あいさつ	北海道教育大学旭川校 矢野 敏文 先生
3. 会長あいさつ	野中 浩俊（新潟大学名誉教授）
4. 幹事長あいさつ	平形 精一（静岡大学）
5. 議事	議長 風岡 正明（愛知教育大学）
1) 平成21年度事業報告 → 資料1	石井 健（東京学芸大学）
2) 平成21年度決算報告 → 資料2	柿木原くみ（相模女子大学）
3) 平成21年度監査報告	*議長代読
4) 平成22年度事業計画（案）→ 資料3	石井 健（東京学芸大学）
5) 平成22年度予算（案）→ 資料4	柿木原くみ（相模女子大学）
6) 規約の一部改正について → 資料5	石井 健（東京学芸大学）
7) その他	
6. その他	
1) 学会誌について	横田 恭三（跡見学園女子大学）
2) 次年度開催大学あいさつ	齋木 久美（茨城大学）
3) 新入会員紹介→資料7	事務局
4) その他	
高校書道教員免許対応テキストについて	横田 恭三（跡見学園女子大学）
7. 閉会のことば	鈴木 晴彦（日本大学）

● 10:30～12:10 研究発表 午前の部

【L301教室】 司 会：長沼 雅彦（秋田大学）

10:30～11:00

趙之謙の楷書における逆入平出について

新潟大学大学院 修士課程1年 波多野彩佳

11:05～11:35

傅山の小楷に関する一考察 ―自身の書論及び作品との比較を通して―

新潟大学大学院 修士課程2年 福田 紗季

11:40～12:10

唐王朝の王室における書風の形成と継承について ―太宗の書を中心として―

東京学芸大学大学院 修士課程2年 黒丸 寛子

● 12:10～13:10 昼 食

● 13:10～14:50 研究発表 午後の部（1）

【L301教室】 司 会：横田 恭三（跡見学園女子大学）

13:10～13:40

鄧石如の落款と印に関する一考察

新潟大学大学院 修士課程2年 土田 奈美

13:45～14:15

阮元と朱為弼 ―『積古齋鐘鼎彝器款識』の編纂活動を中心として―

立教新座中学校・高等学校 講師 草津 祐介

14:20～14:50

四天王寺国際仏教大学恩頼堂文庫蔵『教長卿口伝三十五条』についての一考察

日本大学大学院 博士課程1年 金子 馨

● 14:50～15:05 休 憩

● 15:05～16:10 研究発表 午後の部（2）

【L301教室】 司 会：鈴木 晴彦（日本大学）

15:05～15:35

明治・大正篆刻史における旧派と新派

鎌倉女子大学短期大学部 専任講師 杉山 勇人

15:40～16:10

北魏墓誌と造像記の接点 ―洛陽龍門第一四四三窟を利用して―

愛媛大学 准教授 東 賢司

● 16:10 閉 会

資料1 平成21年度 全国大学書道学会 事業報告 → 承認

(平成21年) 5月17日	常任幹事会／三学会合同役員会（平成21年度広島大会について）
5月中旬	広島大会第1次案内作成
5月28日	広島大会要項（第1次）、会員書作展出品要項、会員書作展図録、学会誌、会員票、会費払込用紙等 発送
7月10日	広島大会研究発表応募締切日
7月28日	常任幹事会（広島大会、発表者及び発表順、総会議事案、役員改選等 について）
8月10日	会員書作展作品送付締切日
9月8日	広島大会要項（第2次）、発表要旨集 発送
9月10日	学会誌論文投稿申込締切日
10月23日	幹事会（広島大会、役割分担確認、総会議事案検討）
10月24日	平成21年度（広島）大会（総会、研究発表、対談）／三学会合同懇親会
9月24～25日	平成21年度会員書作展（安田女子大学）
11月20日	学会誌投稿論文受付締切日
11月下旬～	研究発表論文査読
12月22日	常任幹事会（査読結果確認及び学会誌の発行について）
(平成22年) 1月～3月	学会誌編集
3月27日	常任幹事会／三学会合同役員会（広島大会反省、22年度旭川大会について）

資料2 平成21年度 全国大学書道学会 決算報告 → 承認

A [収入の部]	
1) 平成20年度からの繰越金	707,774円
2) 平成21年度会費収入（221名）	1,561,000円
3) 雑収入（預金利子）	627円
合 計 (A)	2,269,401円
B [支出の部]	
1) 広島大会運営費補助（含む講師謝礼50,000円）	170,000円
2) 幹事会費（幹事会費204,901円、交通費185,550円）	390,451円
3) 通信費	85,100円
4) 印刷費（学会誌、会報〔会員書作展ページを含む〕）	499,800円
5) 事務費（事務費53,337円、会費払込手数料22,480円を含む）	75,817円
6) 予備費（東方学会／年会費6,000円）	6,000円
合 計 (B)	1,227,168円
(A) 総収入 － (B) 総支出 ＝ 残高	
2,269,401円 － 1,227,168円 ＝ 1,042,233円（次年度繰越金）	

上記の通り報告いたします。 平成21年9月97日 事務局会計担当 柿木原くみ ㊤
 以上相違ありません。 平成21年9月17日 監 査 大橋 修一 ㊤
 同 岡本 直人 ㊤

資料3 平成22年度 全国大学書道学会 事業計画（案） → 承認

(平成22年) 5月9日	常任幹事会／三学会合同役員会（平成22年度旭川大会について）
5月中旬～	旭川大会第1次案内作成
6月1日	旭川大会第1次案内、会員票、会員書作展出品要項、学会誌、会報、等 発送
6月30日	旭川大会研究発表応募締切日
7月11日	常任幹事会（旭川大会、研究発表者及び発表順、総会議事案、高校書道教員免許対応テキスト等 について）
8月5日	会員書作展作品送付締切日
9月8日	旭川大会第2次案内、発表要旨集、発送
9月24日	学会誌論文投稿申込受付締切日
9月28日～10月3日	平成22年度会員書作展（三八ギャラリー）
10月1日	幹事会（研究発表、総会議事案、規約改正、高校書道テキスト等 について） 三学会合同懇親会（花月会館）
10月2日	平成22年度旭川大会（総会、研究発表）
11月20日	学会誌論文投稿締切日

11月下旬～12月中旬	論文査読
12月下旬	常任幹事会（査読結果及び学会誌について）
（平成23年）1月～3月	学会誌編集
5月中～下旬	常任幹事会／三学会合同役員会（旭川大会反省、23年度茨城大会について）

資料4 平成22年度 全国大学書道学会 予算（案）→ 承認

A [収入の部]	
1) 平成21年からの繰越金	1,042,233円
2) 平成22年度会費収入（200名）	1,200,000円
3) 雑収入（預金利子）	800円
合 計 (A)	2,243,033円
B [支出の部]	
1) 旭川大会運営費補助	120,000円
2) 幹事会費	
会議費	200,000円
交通費	200,000円
3) 通信費	100,000円
4) 印刷費	
学会誌・会報	500,000円
発送用封筒	50,000円
5) 事務費（消耗品費、事務補助費、会費払込手数料を含む）	100,000円
6) 予備費	973,033円
合 計 (B)	2,243,033円

資料5 地方幹事の増員ならびに会務担当幹事の新設に係る規約改正（案）→ 承認

《 改正の趣旨 》

昨今、大学教員の業務が多様化するとともに増大し、役員会を含めた学会への参加も年々難しくなっている。

地方幹事の増員について、公務等により、地方幹事が幹事会に出席できないケースが増えているが、増員により、欠席による審議への影響を少なくし、幹事会の活性化をはかりたい。

会務担当幹事の新設は、常任幹事の会務負担を軽減し、また、とくに、若手の会員を会務担当幹事に登用することによって、学会の諸活動の活性化をはかり、円滑な世代交代を企図するものである。

役員及び運営組織の名称についても、現行の名称から、一般的に用いられている名称に変更したい。

本改正により、現行規約において、幹事長、常任幹事、地方幹事と称している役員の名称を、学会の一般的な役員名称である理事長、常任理事、理事（地区担当）に改め、理事（地区担当）の定員を各地区原則2名とする。

また、理事（会務担当）の新設については、常任理事の会務負担を軽減し、また、とくに、若手の会員を会務担当幹事に登用することによって、学会の諸活動の活性化をはかり、役員の円滑な世代交代が行えるようにする。

《 現 行 》

第七条 本会に左の役員を置き、会の運営を計る。

- 1 会 長 一名
- 2 副会長 若干名
- 3 幹事長 一名
- 4 常任幹事 若干名（庶務会計幹事を含む）
- 5 地方幹事 九名
- 6 監 査 二名

会長・副会長は、幹事の推薦による。

幹事長・常任幹事及び監査は、総会によって選出し、地方幹事は、各地区から一名選出する。

幹事長は、必要に応じ、常任幹事の中から副幹事長（一名）を指名することができる。

役員の任期は二年とする。

《 改正案 》

第八条 本会に左の役員を置き、会の運営を計る。

- 1 会 長 一名
- 2 副会長 若干名
- 3 理事長 一名
- 4 常任理事 若干名
- 5 理事（地区担当） 各地区原則二名

6 理事（会務担当） 若干名

7 監 査 二名

会長・副会長は、理事会の推薦により選出する。

理事長・常任理事及び監査は、総会によって選出する。理事（地区担当）は、各地区から原則二名を選出する。理事（会務担当）は、必要に応じ、理事長が若干名を指名する。

理事長は、必要に応じ、常任理事の中から副理事長（一名）を指名することができる。

役員の任期は二年とする。

*その他、現行規約中の幹事長、常任幹事、地方幹事、常任幹事会、地方幹事会の名称を理事長、常任理事、理事（地区担当）、常任理事会、理事会に改め、規約の整備をはかる。

*本改正は平成23年4月1日より施行する。

資料6

全国大学書道学会 役員一覧表（平成22年4月から平成24年3月まで）

参 与 加藤 達成 渡辺富美雄 吉田 繁 城所 正 小木 良一
会 長 野中 浩俊（新潟大学名誉教授）
副 会 長 前田舜次郎（元跡見学園女子大学教授）

理 事 長 平形 精一（静岡大学）
副理事長 横田 恭三（跡見学園女子大学）[学会誌編集担当]
常任理事 鶴田 一雄（新潟大学）[学会誌編集担当]
鈴木 晴彦（日本大学）[学会誌編集担当]
柿木原くみ（相模女子大学）[事務局・会計担当]
石井 健（東京学芸大学）[事務局・庶務担当]

理事（地区担当）

[北海道] 辻井 義昭（北海道教育大学）
[東 北] 玉澤 友基（岩手大学）
[北 陸] 押木 秀樹（上越教育大学）
[関 東] 森岡 隆（筑波大学）
[東 海] 風岡 正明（愛知教育大学）
[近 畿] 前島 良彦（大阪教育大学）
[中 国] 日比野貞勝（広島文教女子大学）
[四 国] 東 賢司（愛媛大学）
[九 州] 竹之内裕章（佐賀大学）

監 査 大橋 修一（埼玉大学）
岡本 直人（元帝京大学講師）

資料7

平成22年度（広島大会以後、旭川大会まで）新入会員・準会員／退会者

【会 員】（8名）

山内 常正（静岡大学非常勤講師）
中澤 功（静岡文化芸術大学非常勤講師）
杉崎 哲子（名古屋国際中学校高等学校教諭）
名部 勝美（淡海書道文化専門学校教授）
平田 光彦（岩手大学准教授）
下田 章平（筑波大学博士特別研究員）
弘中 雄太（日本習字教育財団）
中元 雅昭（日本大学通信教育部）

【準会員】（11名）

重友 克夫（武蔵野大学大学院修士課程／推薦者：廣瀬裕之）	陳 佳麟（東京学芸大学大学院修士課程／推薦者：加藤祐司）
土田 奈美（新潟大学大学院修士課程／推薦者：角田勝久）	黒丸 寛子（東京学芸大学大学院修士課程／推薦者：橋本栄一）
福田 紗季（新潟大学大学院修士課程／推薦者：鶴田一雄）	河合 洋輔（東京学芸大学大学院修士課程／推薦者：加藤祐司）
森山 華那（福岡教育大学大学院修士課程／推薦者：坂井孝次）	西川 竜矢（東京学芸大学大学院修士課程／推薦者：長野秀章）
井上 悠（武蔵野大学大学院修士課程／推薦者：廣瀬裕之）	仁田幸一郎（東京学芸大学大学院修士課程／推薦者：長野秀章）
海野 陽子（東京学芸大学大学院修士課程／推薦者：加藤祐司）	

【退会・退会申出者】 田中 有 加藤 信一 矢萩 喜孝 吉澤 義和 齋藤千鶴子 八長 康晴

平成二十二年 度

全国大学書道学会 会 員 書 作 展

会 期 平成二十二年九月二十八日(火) ～ 十月三日(日)
会 場 旭川市「三八ギヤラリー」

好学近乎知 青木雪花 (静岡大学)



読書如服薬 東南光 (徳島大学)



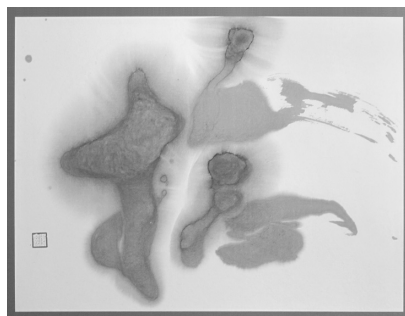
有島武郎「親子」より 井上悠 (武蔵野大学大学院)



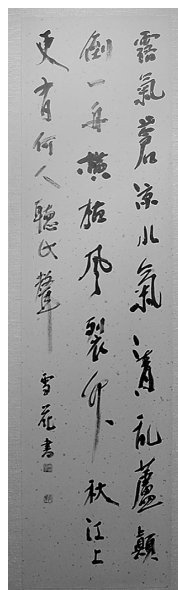
可憐 青山浩之 (横浜国立大学)



捻 井澤秀彦 (恵泉女学園大学)



汪中の詩 青木雪花 (武蔵野大学)

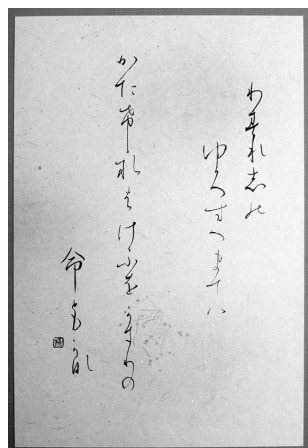


桃李争妍 伊豆名皓美 (新潟大学大学院)



儀同三司母の歌

海野陽子 (東京学芸大学大学院)



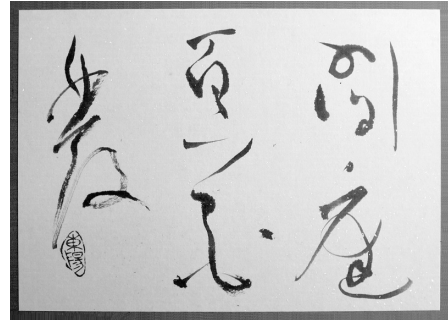
月夜さやけし 石井健 (東京学芸大学)



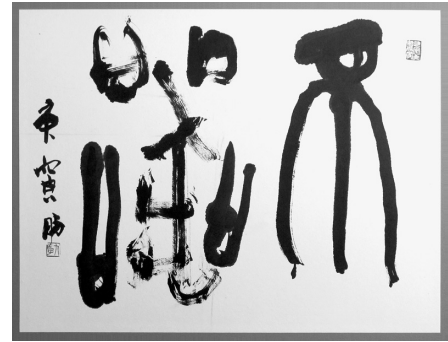
古劍庸一吼 加藤堆繫 (東京学芸大学)



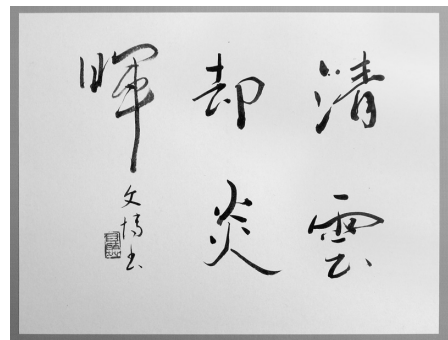
良寛の詩「問庭百花發」
加藤東陽（東京学芸大学）



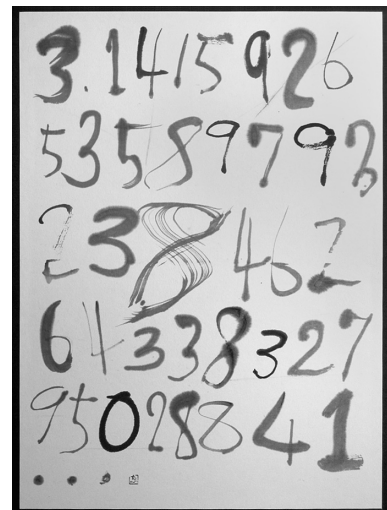
不器
角田九閤（新潟大学）



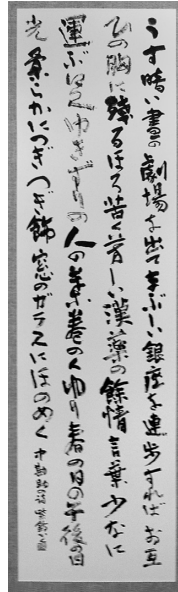
清雲却炎暉
清水文博（東京学芸大学）



円周率
田畑理恵（東京学芸大学大学院）



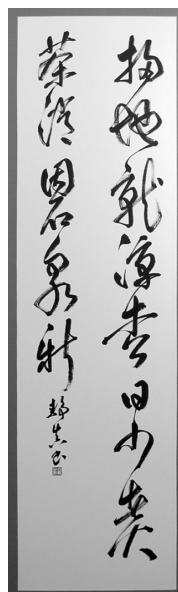
中勘助の詩 柿木原紫鈴（相模女子大学）



臥薪嘗胆 見城正訓（静岡大学）



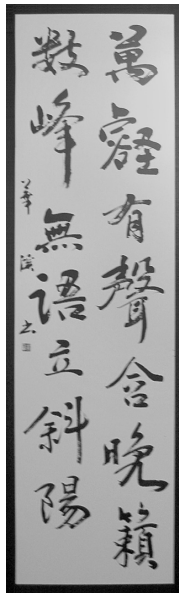
徐照の詩 白鳥静真（立正大学）



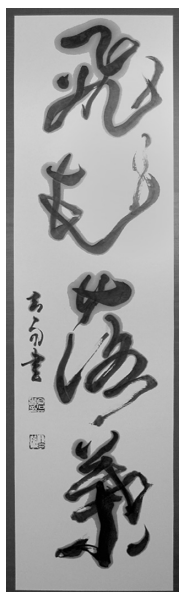
淵博 風岡五城（愛知教育大学）



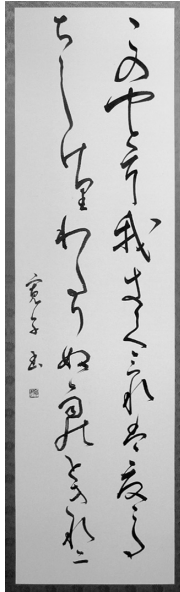
萬壑有聲含晚籟 數峰無語立斜陽 齋木華溪（茨城大学）



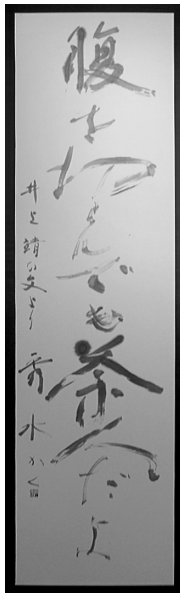
飛花落葉 白石玄雨（新潟大学大学院）



良寛の歌 黒丸寛子（東京学芸大学大学院）



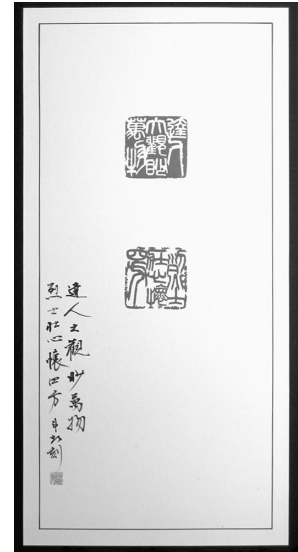
井上靖の文「腹を切らんでも茶人だよ」
重友秀水（武蔵野大学大学院）



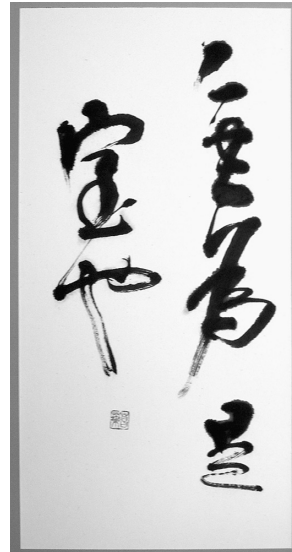
広島 長崎 神野大光（熊本大学）



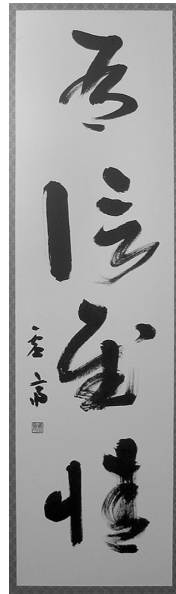
達人大觀眇萬物 烈士壯心懷四方 小西斗虹（香川大学）



無為是宝也 鈴木菖葉（長崎大学）



有信慰情 塚本宏（和洋女子大学）



李白の詩 土田奈美（新潟大学大学院）



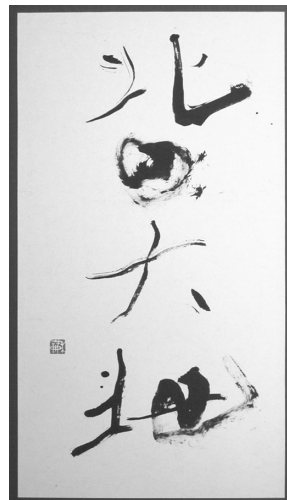
虎溪三笑 滝口雅弘（静岡大学）



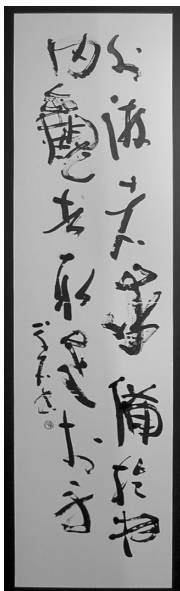
心廣體胖 鶴田一雄（新潟大学）



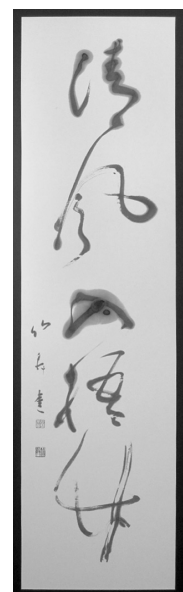
北の大地 豊口和士（文教大学）



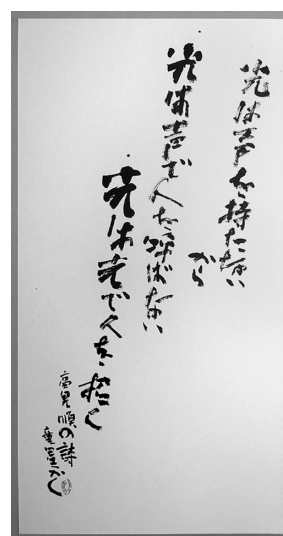
列子の句 土橋草石（比治山大学）



清風入梧竹 長野竹軒（東京学芸大学）



高見順の詩 西川竜星（東京学芸大学大学院）



無塵慮 野中吟雪（岐阜女子大学）



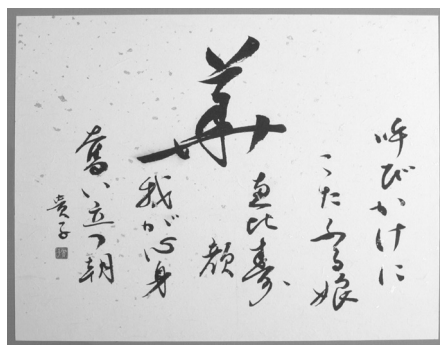
小窓半夜青鏡雨 幽樹一庭黃葉秋 波多野彩佳（新潟大学大学院）



魁 林田俊一郎（南桐大学）



華 松本貴子（大東文化大学）

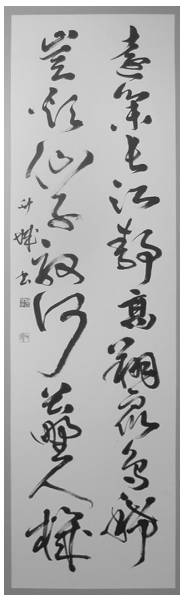


馬 本田容子（目白大学）



長楽無極 矢野鴻洞（北海道教育大学 学会会場校）

張九齡の詩 樋口竹城（千葉大学）



李頎詩 福田紗季（新潟大学大学院）



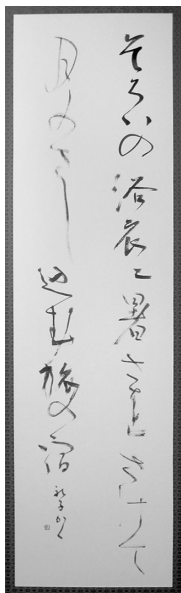
楽進 森上洋光（四国大学）



應機立斷 平形精逸（静岡大学）



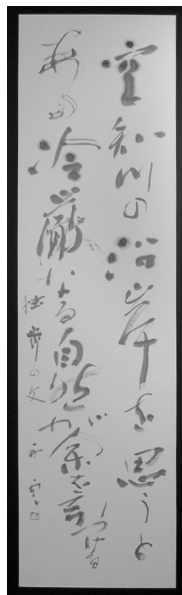
そろいの浴衣に暑さをさけて月のさし込む旅の宿 藤瀬礼子（了徳寺大学）



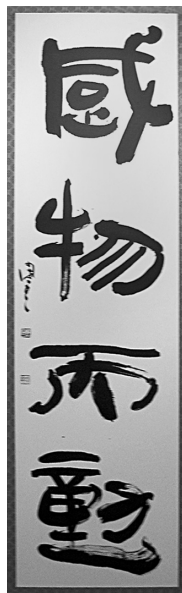
不動心 柳澤もも子（横浜国立大学附属横浜小学校）



独歩の歌 広瀬舟雲（武蔵野大学）



感物而動 横田閑雲（跡見学園女子大学）



平成二十二年度全国大学書道学会 会員・準会員一覧

相川 匡也	栃木県	東京学芸大学名誉教授	大野 久美	静岡県	県立稲取高等学校	菊池 彩子	埼玉県	武蔵野大学	下田真奈美	宮城県	宮城教育大学
相川 政行	神奈川県	武蔵野大学	大橋 修一	埼玉県	埼玉県立沼田高等学校	岸野 大	広島県	県立江田島高等学校	白石 一貴	新潟県	新潟大学大学院
青木 馨子	東京都	武蔵野大学	大村 ユミ	静岡県	浜松市役所	北川有岐子	岐阜県	岐阜女子大学	白鳥ゆう子	神奈川県	立正大学
青木 悟	静岡県	武蔵野大学	大森ア ユミ	長崎県	長崎大学	北田 聡美	岐阜県	盛岡白貝女子園高等学校	城岡 圭太	東京都	都立駒場高等学校
青木 辰樹	埼玉県	県立大宮光陵高等学校	岡田 新子	兵庫県	武庫川女子大学	北畠 康成	静岡県	清明学院高等学校	進藤 英幸	千葉県	千葉大学
青木 貴子	鳥取県	米子市立美術館	岡崎 忍	神奈川県	相模女子大学中部	城所 正	愛知県	愛知教育大学	神野 雄二	熊本県	熊本大学
青山 浩之	神奈川県	横浜国立大学	岡村 浩	新潟県	新潟大学	衣川 彰人	愛知県	愛知教育大学	杉浦 妙子	埼玉県	埼玉県立記念館
赤江 貞夫	大阪府		岡本 直人	東京都	帝京大学	金 敬順	東京都	東京学芸大学大学院	杉崎 哲子	東京都	名古屋国際中学校高等学校
赤岸 恵	神奈川県	大原簿記専門学校	岡本 政弘	愛知県	九州女子大学	木村 博昭	愛知県	愛知教育大学	杉山 邦彦	三重県	四国大学
赤平 和順	東京都	大正大学	小川 崇	埼玉県	県立豊岡高等学校	草津 祐介	東京都	高野山大学	杉山 勇人	東京都	駒場東邦中・高等学校
秋元 正成	福岡県	福岡教育大学	小川 貴史	新潟県	県立柏崎高等学校	九澤 亮子	富山県	県立新湊高等学校	鈴木 綾	千葉県	東京家政学院大学
浅川 学	山梨県	県公立中学校	小川 博章	埼玉県	淑徳大学	久多見 健	愛知県	尚綱大学	鈴木 慶子	長崎県	長崎大学
東 國恵	徳島県	徳島大学名誉教授	山口 裕	新潟県	新潟大学大学院	名古健一 郎	愛知県	名古屋市中区立大学	鈴木 晴彦	千葉県	日本大学
阿保 直彦	東京都	元立正大学	小倉 裕太郎	山口県	山口大学	熊坂 尚史	東京都	巣鴨中・高等学校	鈴木 真理子	千葉県	了徳寺大学
綾部 宏行	東京都	早稲田大学	小黒 哲也	新潟県	県立佐渡高等学校	久米 公	千葉県	福岡女子短期大学	須田 義樹	北海道	北海道教育大学苫小牧校
新井 和徳	埼玉県	県立伊奈学園総合高等学校	小口 小かり	東京都	十文字学園女子大学	倉本 優子	福岡県	東京学芸大学大学院	砂川さつき	福岡県	鳥取大学
荒井 一浩	東京都	東慈聖天大学付属葛尾高等学校	押木 秀樹	新潟県	上越教育大学	黒田 悟史	広島県	ノートルダム清心女子大学	住川 英明	千葉県	大東文化大学
荒金 信治	大分県	別府大学	小田部朗子	岩手県	県立大野高等学校	黒野 貞夫	愛知県	愛知教育大学名誉教授	高木 厚人	千葉県	二松学舎大学
五十嵐康子	神奈川県	麻布学園	落石 園美	東京都	県立上野高等学校	黒丸 寛子	静岡県	東京学芸大学大学院	高澤 浩一	東京都	県立妻沼高等学校
池田 孝一	千葉県	志学館中学校	小野塚雅博	新潟県	県立村上高等学校	見城 正訓	東京都	静岡県	鷹啄 知美	神奈川県	神奈川県
池田 史子	大阪府	大阪教育大学	小原 俊樹	福岡県	福岡教育大学	黄 燕峰	福岡県	県立朝羽高等学校	高橋美穂子	岩手県	二松学舎大学
池田 史子	広島県	安田女子大学名誉教授	柿本 八重	東京都	相模女子大学	山口 直人	東京都	県立ひびき高等学校	高柳 幸雄	静岡県	静岡大学
池村絵美理	東京都	東京学芸大学大学院	柿本 原くみ	東京都	愛知教育大学	小浦 良一	東京都	東京学芸大学名誉教授	滝口 雅弘	千葉県	専修大学
伊澤 遼	新潟県	新潟大学大学院	風岡 正明	愛知県	愛知教育大学	小竹 正高	岡山県	岡山明誠学院高等学校	田口伊基子	千葉県	三重大
井澤 秀彦	東京都	恵泉女子園大学	加瀬 琴己	神奈川県	県立須恵高等学校	小西 憲一	長野県	信州豊南短期大学	竹嶋 秀聡	佐賀県	佐賀大学
石井 健	新潟県	新潟大学大学院	加藤 亜希子	福岡県	県立万代高等学校	小林 大明	茨城県	茨城町立梅香中学校	竹之内裕章	広島県	安田女子大学
石川 仁	新潟県	新潟大学大学院	加藤 達成	東京都	女子美術大学	小林比出代	長野県	県立松本深志高等学校	谷口 邦彦	東京都	東星学園
石田 真弓	和歌山県	県立紀伊館高等学校	加藤 達	東京都	東京学芸大学	小原みどり	東京都	県立赤穂高等学校	田村 実	徳島県	四国大学
伊藤 淳也	北海道	北海道札幌真栄高等学校	加藤 泰弘	東京都	東京学芸大学	齋木 陽老	千葉県	茨城大学	千葉 里香	千葉県	了徳寺大学
伊藤 忠綱	千葉県	明星大学／日本大学	加藤 祐司	埼玉県	筑波大学大学院	込谷 陽老	東京都	茨城大学	陳 天	東京都	和洋女子大学名誉教授
伊豆名皓美	新潟県	新潟大学大学院	金子 馨	埼玉県	東京学芸大学	坂井 昭彦	新潟県	福岡教育大学	塚本 宏	東京都	北海道教育大学札幌校
井上 悠	東京都	武蔵野大学大学院	兼平 爵臣	岩手県	岩手大学	坂井 孝次	東京都	台東区立書道博物館	辻 尚子	北海道	北海道教育大学札幌校
海野 正浩	千葉県	了徳寺大学	加納 清一	静岡県	静岡大学大学院	佐々木佑記	東京都	東京家政学院大学	辻 義昭	新潟県	新潟大学大学院
浦野 陽子	埼玉県	慶応義塾普通部	亀石 清一	徳島県	県立井口高等学校	佐藤 敏次	千葉県	早稲田大学高等学校	土田 奈美	新潟県	新潟大学
浦口 新吾	神奈川県	植草学園大学	嘉屋 孝彦	広島県	大阪教育大学	佐藤 英樹	新潟県	県立津南高等学校	角田 勝久	千葉県	千葉大学
江島 史織	東京都	大東文化大学	萱 のり子	奈良県	奈良女子短期大学	塩出智代美	広島県	安田女子大学	津村 幸恵	新潟県	新潟大学
王 力軍	東京都	大東文化大学	萱 のり子	東京都	カリタス女子短期大学	重友 智美	東京都	武蔵野女子大学	鶴田 一雄	東京都	東京学芸大学大学院
大菅 奈緒	神奈川県	静岡大学大学院	河合 廣太郎	埼玉県	NHK学園高等学校	小竹 光夫	兵庫県	兵庫教育大学	陳 佳麟	新潟県	新潟大学大学院
太田 景子	静岡県	四国大学	河合 洋輔	東京都	日本大学	洪谷みどり	静岡県	静岡大学大学院	手代木真美	東京都	早稲田大学大学院
太田 知美	北海道	北海道清田高等学校	川原 淳	東京都	東京学芸大学大学院	清水 文博	静岡県	東京学芸大学	徳泉 さち	福岡県	県立博多青松高等学校
大滝 英輔	東京都	淑徳大学	菊澤 絵美	東京都	武蔵野大学	下田 章平	茨城県	筑波大学	利光亜希子	広島県	比治山大学

飛田 博昭	茨城県	県立那珂湊第一高等学校
富久 和代	徳島県	四国大学
豊口 和士	神奈川県	文教大学
豊島 嘉穂	福岡県	四国大学
豊田 宗児	奈良県	奈良教育大学
直井 誠	岐阜県	岐阜女子大学
仲川 恭司	埼玉県	専修大学
中川 泰一	兵庫県	関西大学
中川 寿郎	兵庫県	四天王寺国際仏教大学
中澤 功	静岡県	静岡芸術文化大学
中嶋 章乃	東京都	県立牛深高等学校
中島 好治	熊本県	仏教大学
中田 恵子	静岡県	日本大学
中元 雅昭	東京都	秋田大学
長沼 雅彦	秋田県	秋田大学
長尾 秀則	京都府	仏教大学
長野 秀章	東京都	東京学芸大学
名部 勝美	滋賀県	淡海書道文化専門学校
成瀬 靖子	東京都	都立杉並高等学校
西 恵里子	新潟県	東京学芸大学大学院
西川 竜矢	東京都	静岡大学
西田 雅子	静岡県	大阪教育大学名誉教授
西橋 靖雄	奈良県	武庫川女子大学
西山 明美	兵庫県	東京学芸大学大学院
仁田幸一郎	東京都	新潟大学名誉教授
野中 浩俊	新潟県	安田女子大学
信廣 友江	広島県	安田女子大学
萩 信雄	広島県	東京学芸大学
橋本 栄一	埼玉県	東洋大学
蓮見 行廣	東京都	県立茅ヶ崎高等学校
長谷川千恵子	神奈川県	愛知学院大学
長谷川昌弘	愛知県	新潟大学大学院
波多野彩佳	新潟県	福岡教育大学
服部 一啓	福岡県	滋賀文教短期大学
華井 春汀	岐阜県	新潟大学大学院
馬場 隆徳	新潟県	早稲田大学
馬場 美幸	東京都	尚綱大学
濱田 瑞美	神奈川県	淡海書道文化専門学校
林田俊一郎	熊本県	千葉大学
原田 博至	滋賀県	愛媛大学
樋口 咲子	群馬県	広島文教女子大学
東 賢司	愛媛県	静岡大学
日比野貞勝	広島県	岩手大学
平形 精一	静岡県	
平田 光彦	東京都	
平原 温子	東京都	
廣瀬 裕之	東京都	武蔵野大学
弘中 雄太	滋賀県	日本習字教育財団
福島 一浩	東京都	二松学舎大学
福島 肇	千葉県	和洋女子大学名誉教授
福田 紗季	新潟県	新潟大学大学院
福光 佐々	大阪府	奈良教育大学
藤井 里恵	神奈川県	県立柏陽高等学校
藤川 直人	東京都	了徳寺大学
藤瀬 礼子	千葉県	新潟大学大学院
平馬 三代	新潟県	福井大学
法水 光雄	福井県	了徳寺大学
細谷 菜穂子	千葉県	了徳寺大学
細谷 恵志	千葉県	了徳寺大学
本多 和宏	新潟県	県立巻高等学校
本田 容子	東京都	大阪教育大学
前島 良彦	大阪府	元跡見学園女子大学
牧 愛子	東京都	東京学芸大学大学院
幕田 隆	千葉県	千葉大学
増田 与久	静岡県	浜松学芸高等学校
増永 久美子	熊本県	東洋大学
松浦 貢	埼玉県	県立羽生高等学校
松尾 治	埼玉県	鹿児島大学
松清 志穂	長崎県	
松永 恵子	静岡県	
松本 貴子	千葉県	大東文化大学
松本 仁志	広島県	広島大学
丸山 香織	兵庫県	立命館大学大学院
圓山 由香	神奈川県	県立久里浜高等学校
源川 進	千葉県	二松学舎大学
蓑毛 政雄	徳島県	四国大学
宮澤 正明	山梨県	山梨大学
宮村 玄	静岡県	新潟大学
宮脇 玄徳	北海道	札幌龍谷学園高等学校
村井 清志	北海道	京都光華女子大学短期大学部
村山 昌央	北海道	北海道教育大学釧路校
村山 真美	北海道	新潟大学大学院
森 常雄	茨城県	茨城大学
森 哲之	茨城県	広島文教女子大学
森岡 隆	茨城県	筑波大学
森下 洋光	徳島県	四国大学
守田 弘	広島県	安田女子大学
森山 華那	福岡県	県立北筑高等学校
森山 秀吉	福岡県	福岡教育大学大学院
八木 宣諦	熊本県	熊本県立大学／尚綱大学
安原 亜悠	岡山県	横浜国立大学附属横浜小学校
柳澤ももこ	神奈川県	横浜国立大学附属横浜小学校
柳田さやか	東京都	東京学芸大学
矢原 徳子	広島県	尾道大学
山内 常正	静岡県	静岡大学
山崎真由美	東京都	都立新宿高等学校
山中映二郎	神奈川県	横濱市立大学
山本 興	島根県	県立松江北高等学校
山本 祐司	愛知県	安城学園高等学校
湯澤 聡	広島県	安田女子大学
湯之上尚枝	広島県	安田女子大学
横田 恭三	埼玉県	跡見学園女子大学
吉川美恵子	埼玉県	奈良教育大学
吉澤 龍二	岐阜県	岐阜女子大学
吉田 繁	埼玉県	東京学芸大学名誉教授
淵脇 貴子	埼玉県	
渡辺富美雄	神奈川県	
和田 圭壮	福岡県	福岡教育大学
和田 幸大	東京都	東京大学史料編纂所

平成二十三年三月三十一日現在

* 氏名を五十音順に配列し、居住地の都道府県名、所属を記した。所属について、変更の申し出がないものについては昨年度の一覧に掲載したものをそのまま掲載した。

* 氏名、都道府県、所属に変更あるいは誤りがある場合、記載漏れがある場合は事務局庶務担当まで文書でお知らせください。

* 現在、大会案内、紀要、会報等はヤマト運輸のメール便で送付しています。住所を変更された場合、転送されませんので、住所変更・転居の場合は、新たな住所・転居先を速やかに事務局庶務担当宛文書でお知らせください。正確・迅速な発送を期すために皆様のご協力をお願いいたします。

新入会員推薦のお願い並びに入会申し込みについて

会員の皆様から、新入会員（準会員）をご推薦いただき、本会の一層の充実を図りたいと考えております。学会研究誌の最終ページの申込書をコピーの上、お申し込みいただきたくお願い申し上げます。

＜入会手続き＞

* 「新入会員用会票（入会申込書）」に必要事項を記入の上、**事務局・会計担当（下記所在地）まで郵送またはFAX（042-743-4717）**してください。

* 新入会員用会票（入会申込書）の受領ならびに入会年度年会費の払い込みを確認した後、常任幹事会の承認を経て、総会で新入会員（準会員）の報告をいたします。

* 年会費は、会員6,000円、準会員5,000円です。なお、大学院生（準会員）は、大学院修了後は、会員の資格として扱います。

* 送金は、事務局・会計担当まで郵便振替払込用紙（赤色用紙）をご請求いただき、郵便振替にてお願いいたします。（用紙の通信欄に、「新入会員入会年度年会費」もしくは「新入準会員入会年度年会費」と明記してください。）

* 払込先は下記の通りです。

■口座番号 00110-9-613810

■加入者名 全国大学書道学会

〈事務局・会計担当〉〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京2-1-1

TEL 042-749-1405

相模女子大学学芸学部 柿木原研究室内 全国大学書道学会事務局（会計担当）